

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4590100246
法人名	有限会社あおき
事業所名	グループホームあおき園 2番館
所在地	宮崎県宮崎市山崎町佐牟田 1 4 0 9 番地 2 (電 話) 0985-65-7065
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
所在地	宮崎県宮崎市原町 2 番 2 2 号
訪問調査日	平成21年11月30日 (月)

【情報提供票より】 (平成21年9月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成20年1月1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
利用定員数計	9 人
常勤7人, 非常勤2人, 常勤換算7.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	30,907 円	その他の経費(月額)	実費 円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (89,730 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,050 円	

(4) 利用者の概要 (平成21年9月18日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名	
要介護1	0	要介護2	4			
要介護3	2	要介護4	2			
要介護5	1	要支援2	0			
年齢	平均	79 歳	最低	67 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	野崎東病院、宮崎生協病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは市内中心部から少し離れた東部にある。周囲にはビニールハウスや田園地帯が広がり、季節の農作物が一望できる。山崎町は市内でも昔から伝統のある地域行事が残されており、行事には管理者も参加して地域との交流を深めている。管理者の利用者に対する思いは強く、絶えず笑顔で接し、職員に対しても働きやすい職場であるよう努力している。利用者の生活歴を生かし、一人ひとりが得意の分野で活躍出来るよう励まし、言葉遣いや行動にも配慮している。食事や入浴時間にもそれが生かされ楽しみが持てるよう工夫している。職員に見守られながら家族同様の雰囲気の中で、利用者は穏やかな日々を送っている。職員の「ここで定年まで働きたい」という言葉が印象的であった。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4) 改善課題としては、主に地域との交流、運営推進会議への取り組み、預かり金出納帳についてなどであったが、管理者、職員が改善を目標とした会議を重ね、取り組むことで改善されている。 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	②	管理者や全職員で自己評価に取り組み、会議ではそれぞれの担当者が意見を出し合い、自己評価の意義を共有したうえで、評価をまとめている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6) 運営推進会議では、地区代表者から地域の行事の紹介や消防団関係者からは避難訓練の指導を受ける等、ホームの説明や報告だけにとどまることなく活発な討議がなされている。利用者及び職員は、地域の行事に参加したり、ホーム内では避難訓練を行ったり、討議で出されたことを生かした取り組みが行われている。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) 行政の苦情窓口を紹介するパンフレットや苦情箱を玄関に置いている。家族の来訪時に相談を受けたり、毎月の「ホーム便り」でホームの内容を伝え、家族の不安を除く取り組みも行っている。来訪時の利用者、職員を交えての会話は、その後の支援の取り組みに生かされている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	⑥	散歩時、地域の人とのあいさつはもちろん、気軽に会話を交わしたり、地域の人による歌や踊りのボランティア、農作物の差し入れ等もある。また、地域の方々を呼んで茶話会を設けている。11月の祭りでは、みこしがホームに立ち寄り利用者を楽しませてくれることになっている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「感性を生かす、安全安心な環境作り、地域とのふれあいの場を持つ管理、尊厳を守る」ことを理念として、玄関や視界に入る場所に掲示している。また、便りにも記載している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を職員全員で共有出来るよう、職員会議で実践に向けての話し合いをし、日々の取り組みに生かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の祭りや花火大会、地区恒例行事の野焼き等にも運営者自身が参加している。11月の祭りでは、みこしがグループホームに立ち寄り、利用者の方々に楽しんでもらう予定が組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員全員が評価の意義を理解しており、前回の外部評価後も何度も話し合っている。今回の自己評価も全員で取り組み、一人ひとりが評価を生かし、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームのある山崎地区は4地区に分かれているため、4名の自治会長、公民館長、消防団の方、歯科医、地域包括支援センター、運営者、職員等の多くがかかわり、ホーム内の説明や地区の行事、災害時についての話し合いが行われている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員を受け入れており、情報交換を通してわからないことがあると、市役所に出向き相談をすることで、行政との連絡を綿密にし、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の健康管理や金銭管理の報告をする際、日常の様子や行事等の写真を同封し、家族へ安心感を与えるよう工夫している。個人の預かり金の出納帳も月ごとに締め切り、運営者の捺印もある。来訪時には家族の捺印をもらい確認できるようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に相談等を聞いている。ホーム内に苦情箱を設置しているが、現在まで意見が入ったことはない。行政に第3者相談窓口があることも知らせている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職がある場合には、利用者が不安にならないよう、該当する職員が直接伝えている。また、辞めた後も来訪する等している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修はもちろん、外部での研修には全職員が参加できるよう勤務調整をしている。復命書は、全職員が閲覧できるようまとめてあり、捺印するようになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の別ホームと作っている連絡協議会や交流等、また、独自のネットワークを展開し交流等を深めたり、勉強会を定期的に行うことを通じ、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者・家族と話し合いの機会を多く持ち、家庭環境や生活歴を把握している。来訪の機会を通じ、他入居者ともなじみの関係をつくり、安心してサービス利用ができるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者にて得意分野で力を発揮してもらうことも多く、昔ながらの田植えまんじゅう作りや巻き寿司等の料理を教えてもらったり、一緒に過ごす中で学ぶことも多く、支えあう関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話を多くし、そこからみられる言動から本人の希望や意向を把握し、思いに沿った暮らしができるよう努めている。困難な場合には、本人や家族に確かめながら検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居前の情報の中から、家族や本人の希望を聞き入れ、よりよく暮らすための課題とケアのあり方についての担当者会議を設け、意見を出し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに見直しを行い、変化が生じた場合には、そのたびに本人や家族との話し合いの場を設け、現状に即した計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に応じて、一時帰宅により家族と安らぎの場を持ったり、食事や買い物、理容店等の外出の要望にできるだけ応えられるよう、迅速かつ細やかに柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の掛かりつけ医があれば継続的な医療が受けられるよう支援し、月2回の協力医による往診にも柔軟性を持ち対応している。肺結核の早期発見のため、年1回の胸部X線撮影も計画されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員間で話題にはなっているが方針は決まっておらず、会議で取りあげたり、本人や家族等との話し合いには至っていない。	○	重度化や終末期は日常の延長線上にあると思われるので、日ごろから本人や家族、主治医を交えて繰り返しの話し合いが必要である。全員で方針を定め共有してほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	一人ひとりの思いに沿えるよう、言葉かけや対応記録等の取り扱いに気を配っている。大勢の中での食事が困難な方には、少し時間を遅らせてその人の誇りを損なわないような対応もしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大体の1日の流れは決まっているが、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に合った方法で、職員と一緒に準備や後片づけを行っている。職員は、利用者とお話をしながら食事をし、さりげなく介助や見守りをしている。温かな雰囲気のある食事風景であった。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2つの班に分けてあり、入浴は1日おきに行っている。気分や体調等による入浴日変更等にも柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	折り紙での小物制作や園芸やつり等の園外活動には、利用者の力量にあわせた支援を行い、楽しんでもらえるような配慮をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣で育てている野菜を取りに出かけたり、近所を散歩したり、さまざまな支援方法で対応を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけないケアを理解しており、家族も自由に出はいることができるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議に消防団の方にも参加を呼びかけており、災害時の避難訓練や勉強会を開いている。消火器の設置場所を壁に貼り、職員だけではなく、利用者や家族、訪れる地域の方々にもわかるように日ごろから取り組んでいる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給には十分気を配り、食事やおやつの折にも声かけし、つぎ足している。食事でも利用者の体調を考慮してバランスの取れたメニューとなっており、新鮮な物や、季節の材料を多く取り入れている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	どの部屋も掃除が行き届いていて、採光にも配慮が見受けられる。花瓶には季節の花が生けてあり共用の空間も各所にソファが置かれ、利用者が自分の子どもだと思っている縫いぐるみの人形が寝かされていた。居心地よく過ごせる工夫がなされていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドを好む人、畳を好む人など本人や家族と相談をして取り入れている。飾り物や家族との写真など、落ち着いた過ごせるよう家庭からの持ち込みをお願いしている。		

※  は、重点項目。